

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和3年8月18日（水）
- 2 確認箇所
プロセス主建屋南側
- 3 確認項目
除染装置スラッジ回収装置搬入用仮設構台設置準備工事の進捗状況

4 確認結果の概要

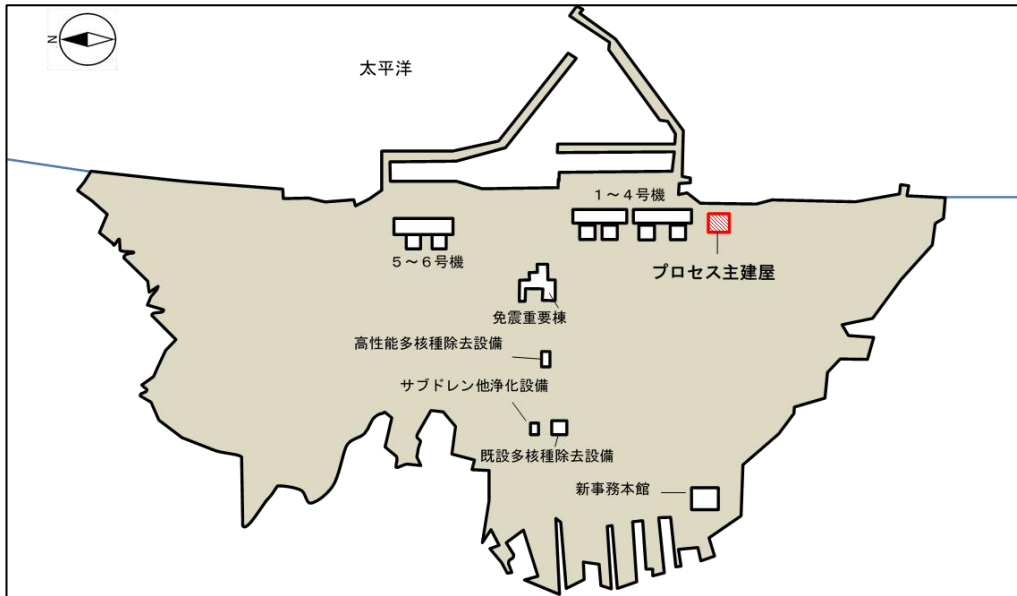
プロセス主建屋内（図1）に設置されている除染装置から発生したスラッジを回収する計画*があり、スラッジ回収装置の設置に向けてスラッジ回収装置搬入用仮設構台の設置やプロセス主建屋外壁への開口部設置のための準備工事が進められている。今回は、仮設構台設置に伴う干渉物撤去などの準備工事の進捗状況を確認した。

- ・ 仮設構台の設置に伴い干渉物となる空冷チラー（冷却水循環装置）循環水ラインの配管等の撤去や足場組立等の準備工事が6月から実施されている。
- ・ 配管や柱脚等の干渉物撤去は終了しており、現地確認時にはプロセス主建屋南側壁面の足場組立作業が行われていた。（写真1）
- ・ 配管の切り離し箇所には漏えい防止のために閉止板が取り付けられており、柱脚の切断箇所には注意喚起のためのトラテープが貼付されていた。

（写真2）

※除染装置スラッジ回収計画

除染装置は建屋滞留水に吸着材や凝集剤を注入して放射性物質を凝集・沈殿させて上澄液とスラッジに分離する処理装置であり、排出されたスラッジは造粒固化体貯槽に保管されている。このスラッジは高線量であり、津波による建屋外部への流出リスク及び造粒固化体貯槽からの漏えいリスクが懸念されるため、プロセス主建屋内に設置する抜き出し設備によりスラッジを抜き出し、プロセス主建屋屋外で抜き出したスラッジを脱水後、スラッジ保管容器に充填して高台（33.5m盤）で保管することにしており、2019年12月24日に実施計画の変更認可を申請している。なお、除染装置の運転は2011年9月までであり、その後は、セシウム吸着装置等で建屋滞留水の処理を行っており、除染装置からのスラッジは発生していない。



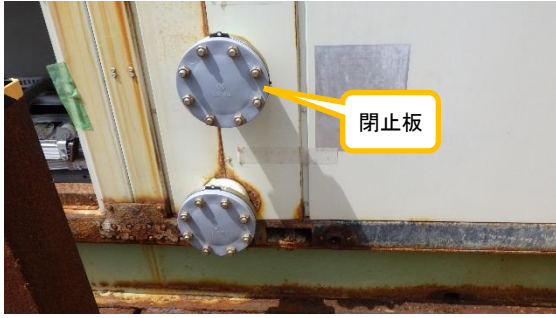
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
プロセス主建屋南側の状況
(南側から撮影)
※赤破線が干渉物撤去跡



(写真1-2)
干渉物撤去後の状況
(南側から撮影)



(写真 2 - 1)
配管切り離し箇所
(空冷チラー下部を東側から撮影)



(写真 2 - 2)
柱脚切断跡の例 (南側から撮影)

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。